



## ☆ 将来の自立に向けて、今から身に付けたいことは？

どの児童生徒も18歳で学校を卒業し、様々な形で自立していきます。中学部3年生や高等部で実施される現場実習は、それに向けて経験の拡大を図るための貴重な場ではありますが、回数や期間に限りがあります。この限られた実習の機会を最大限生かしていくため、小中学部段階から普通の学校や家庭での過ごし方が大切になってきます。さらに卒業というゴールが迫る高等部段階では、一日一日をどう過ごすかが非常に重要です。以下に企業や施設が求めていることをいくつかあげてみましたので、何かの参考にさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

### 【企業が求めること（実習で見極めること）】

- ・挨拶や返事ができる。
- ・休まず出勤できる。
- ・体力や集中力がある。
- ・時間を守れる。
- ・指示に素直に従える。
- ・仕事が終わったときに報告できる。
- ・作業を正確性に行うことができる。
- ・わからないことがあったときに質問できる。
- ・安全に作業ができる。
- ・周囲とのコミュニケーションが取れる。



### 【施設が求めること（身に付けてほしいと考えていること）】

#### 〈就労系（就労移行・B型）〉



- ・挨拶をしっかり身に付けてほしい。
- ・規則正しい生活リズム。
- ・自分でできることは自分ですること。
- ・休まないこと。
- ・指示されたとおりに動けること。
- ・体力を付けること。
- ・持続して作業に取り組めること。

#### 〈生活介護〉

・一人で過ごせる活動（スマホやタブレット端末以外で）を見つけておいてほしい。これさえあれば一人で時間を過ごせる、また落ち着いてその作業に取り組むことができるものがあると強みとなる。これは利用者が入所へ移行する際にも重要です。



